

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：パリー・ランシ
 第 2550 地区ガバナー：伊東 永峯
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会 長：村山 茂 幹 事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-5
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例 会：国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2842回 村山年度 第25回 会報 2019 3-6 司会 秋葉秀樹君

🌀 お客様

- 有限会社 鍋掛牧場
 代表取締役 沖崎誠一郎 様



きれいな水を利用できることは基本的な人権です。しかし世界には、適切な衛生設備が利用できない人が25億人と、安全な飲み水が得られない人が7億4,800万人おり、さらに毎日1,400人の子どもが、劣悪な衛生環境と不衛生な水を原因とする病気で命を落としています。



- 米山記念奨学生
 権鎬珍様



国連は2015年、環境と気候変動に対応しながら貧困問題と福祉改善に取り組むために、「持続可能な開発目標」を設定しました。目標の一つは水と衛生に関する項目で、「すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」ことを目的としています。

ロータリーでも、井戸や雨水貯水システムの設置、水設備管理の研修、疾病予防のための水・設備の提供など、水関連の多くの活動が実施されています。

以下にロータリー会員による活動をご紹介します。

- バンガロア・メトロ・ロータリークラブ(インド): 大規模な鉱業の発展とともに、フッ化物含有物質によって土壌が汚染された地域社会に、水浄化プラントを設置しました。
- ポカラ・ロータリークラブ(ネパール): 農村地域では水を得るために毎日25kmを歩かなければならず、水運びをしなければならない子どもも大勢いました。そこで、米国のウィリアムソン・

🌀 会長挨拶 村山茂会長

皆様、今日は。本日は3月最初の例会でございますので、今月の特別月間のテーマ「水と衛生」について、アズカ・アシフ氏(ロータリー職員)の寄稿文をご紹介します。いただきます。

出席報告 出席委員会 井出法君 (出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 3月 6日	37 (7)	28 (4)	9 (3)	82.3%		
本日 2月27日	37 (7)	28 (6)	9 (1)	77.8%	2	83.3%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

タークラブと協力して500人分の水を貯蔵できるタンクを設置しました。

- 大東ロータリークラブ(大阪):シティーマンガール(ネパール)にある学校の貯蔵タンク(12,000リットル)を活用するためのポンプとフィルターを設置し、年間を通じて安全な飲み水を供給できるようにしました。
- 700万人が水を原因とする疾病リスクにさらされているガーナでも、ロータリー会員は他団体と協力して、水と衛生プロジェクトを実施しています。

3月はロータリーの「水と衛生月間」です。きれいな水をもたらすロータリーの取り組みをあらためて認識するとともに、さらに活動を広げていきましょう。

(寄稿者: アズカ・アシフ ロータリー職員)

黒磯クラブでも、永年にわたり那珂川源流から中流域の水質調査を実施しております。本年も、5月25、26日の2日間の予定で実施することになっておりますので、多くの皆様のご参加をお願いし、本日のご挨拶といたします。

親睦委員会 副委員長 石山桂子君



皆さんこんにちは。親睦委員会副委員長の石山です。今月の誕生祝いは大島三千三さん、泉道夫さん、安藤譲治さんです。

結婚記念日のお祝いは澤田吉夫さん、荒井昌一さんです。

● 誕生祝い



大島三千三君 泉道夫君 (欠席 安藤譲治君)

● 結婚祝い



澤田吉夫君 (欠席 荒井昌一君)

幹事報告 植竹一裕幹事



村山年度第25回幹事報告

- ガバナー事務所より、3月度のリソースが届きましたので回覧致します。
- 同じくガバナー事務所より、RYLAセミナー報告書が届きました。同じく回覧しております。
- 権鎬珍君の奨学生レポートを回覧しております。
- 本日例会終了後、第14回村山年度理事・役員会を開催致します。理事・役員の皆様はお残り下さい。

委員会報告 大島三千三副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

😊 ニコニコボックス 前田貴裕君



- 泉 道 夫 君 誕生祝い有難うございます。
- 澤 田 吉 夫 君 春が近づきました。沖崎さまを迎えて。
- 大島三千三君 誕生祝い有難うございます。
- 鈴木隆子君 沖崎さん、今日はありがとうございます。

🌟 お客様挨拶

● 米山記念奨学生 権鎬珍様

黒磯ロータリークラブにお世話になって一年になりました。はじめは四つのテストが何か分らなかったのですが、今は自然と覚えるようになりました。

グリーンブックという映画をみました。内容はアメリカの有名な天才的なピアニストであるドクタ、シャリーはトニー・リップというドライバーとピアノ講演のツアーをする内容です。1960年代の話でシャリーは黒人であり演奏するときは、必ず白人から差別を受けます。トニーは白人でありトニー自体も黒人を軽蔑してましたが、シャリーに雇用され、黒人に対する世の中の差別を一緒に経験しながら、差別に対する態度が変わるようになります。グリーンブックというのはその時代に黒人だけが入れるホテルやレストランが書かれた本の名前ということから、この映画のタイトルになったようです。

この映画をみて、この映画の背景は1960年代であり人種差別はひどかったと思いますが、今でも差別はどここの社会でも存在するのではないかと思います。それは多くの人が色めがねをかけて、ものを見てるからだと思います。まずはマスコミ、その地域の風習や文化のメガネで、相手を見ると色は濃くなっていくとおもいます。

一年間、国際理解力を持っているロータリアンと話しながら、相手の立場で考えることなどが少しは出来るようになり、私の中の色メガネの色が薄くなってきてると感じます。

これからの1年も、みなさんと交流しながら、私の中のグリーンブックをなくしていきたいと思っています。

● 権鎬珍君奨学生レポート

今年4月から奨学生になり、約半年が経ちました。初めて世話クラブの人たちと会えたのは足尾銅山で植樹そしに行ったときでした。初対面で緊張しましたが、皆さんが笑顔で声をかけてくださりまして安心しました。そして、夜間例会に2回参加し、卓話をした後懇親会にも参加させてもらいました。

人の前で話すことが苦手でしたが、1回目よりも2回目のほうが緊張感を和らげることができました。いつも人の前で発表した後は話したいことがきちんと話せず、後で後悔することが多かったのですが、これからも卓話をしていく上でそういうところも改善していけることを期待し、論文を発表するうえでも役に立つと思いました。

奨学生になってから支援を受けるようになり、心の余裕ができました。私はお互いに助けあうことが大切だと思い、人と交流やボランティア活動などが好きですが、日本ではバイトなどで時間はもちろん経済的な余裕もなかったため、そういう活動に参加することができませんでした。支援を受けるようになってからも時間の制約でボランティア活動はあまり参加できてないですが、日常生活をするうえで人と接するときも相手の立場からものごとを考える余裕ができました。

このように、世話クラブの人々やロータリアンの人たちと交流が増えたこと、卓話をしながら人の前で発表することができること、こころの余裕ができたことが奨学生になってからの今まで得られたことです。

🌟 卓話 スマイルボックス委員会 委員長 鈴木隆子君



本年度のスマイルボックス委員会は、相馬征志さん、小野安正さん、前田貴宏さんと4人で運営しています。

現在のところ、皆様にご協力頂いて、お陰様で順調に進んでいます。ありがとうございます。

本日は、卓話ということで、鍋掛牧場の沖崎さんをお願い致しました。沖崎さんはご存知の方も多く、あらためてご紹介申し上げるまでもございませんが、私が黒磯に嫁にきて間もなく、主人がロータリーに入りました頃、沖崎さんのお父様もロータリーのメンバーでいらっしやいまして、ロータリーのお花見

会が沖崎さんの牧場でおこなわれたことがございました。牧場の気持ちのいい空気の中で、満開の桜に囲まれて、お父様が乗馬をご披露してくださいました。

私にとりまして、今でもとても懐かしく本当に素敵な思い出の一つになっています。

本日は「オリンピックの裏でおきている事」と題しまして、卓話をさせていただきます。

● 有限会社鍋掛牧場 代表取締役
公益社団法人競走馬育成協会理事
沖崎誠一郎 様



1. 近代オリンピックにおける馬術競技
(成り立ちから現在まで)

馬術競技がオリンピックの種目になったのは意外に古く、1912年の6回ストックホルム大会から正式種目になっている。以来一度も大会種目から外れることなく31回リオデジャネイロ大会まで続いている。強国と言われている国はドイツ、スウェーデン、フランスなどでありイギリス、オーストラリア、アメリカなどが続く。

元々は軍隊の騎兵鍛錬が競技化したもので第二次大戦までは出場選手の多くが騎兵将校だった。日本も1932年のロサンゼルス大会で西竹一騎兵中尉が大障害競技で金メダルを獲得している。男女の差がないのはヨットの一部種目と馬術だけでプロの出場も認められている。

日本の参加は1928年のアムステルダム大会からで、以来正式3種目に代表選手を送り続けている。

日本においてはマイナーな競技であるが、海外では人気が高く、競技人口も多い。欧州ではサッカーに次ぐテレビ視聴率の高い種目であり、その

ためスポンサーの獲得も容易で多くのプロ選手が高額収入を得ている。

アジア大会では日本は最強国でライバルは韓国、サウジアラビアなど。東京大会では過去最大のチーム強化が進められ、決勝進出はもとよりメダルが期待できる。クーベルタンの「参加することに意義がある」という言葉も参加国の少ない時代に勧誘活動に奔走している中から生まれた言葉であって、商業オリンピックとなった現代では成績を上げなければ予算も付かないし、普及も望めないのである。

2. アニマルウェルフェアとは

(動物福祉の名のもとに隠された、開催国を取り巻く外圧)

このアニマルウェルフェアという言葉は日本がオリンピック招致に成功したあたりから耳にするようになった。直訳すれば動物福祉なのだから「生き物をいたわり、慈しみましょう」などといった動物愛護の言葉にも思えるが実はそうではない。

畜産業の盛んな国を中心に食材となる畜産動物を正しく管理するための世界統一評価基準というものがあり、そのタイトルに使われている言葉なのである。テキストの内容は多岐にわたっており、水の与え方から出荷時の輸送の仕方、安楽死させる際の銃殺の方法まで細かく記されている。これを遵守している国は厳しい規制を設けて実施しているが、日本は最近まで取り入れていなかった。畜産衛生が行き届いた国であり、狂牛病などを発生させていなかったためと思われる。

しかし、オリンピックやサッカーワールドカップなどのビッグイベントが行われると世界中から人が集まり、開催国は食の安全を考えなければならず、農水省も無視はできなくなった。無視どころか早急に各畜産動物ごとの日本語テキストを配布し、基準に沿った飼育管理を指導しなければならなくなった。プレオリンピックまでのどこかで抜き打ちの調査を実施すると通告されたのである。これは飼育管理が不適格であるとみなされた場合は日本国内で調達された畜産物の食材は使用できないことを意味する。更に、肉類を中心に「畜産物は外から持ち込む」というとてつもない外圧なのである。

オリンピック開催はあらゆる分野に大きな経済効果をもたらすが、もろ手を挙げてオリンピック景気を謳歌するわけにもいかない話が潜んでいる。

3月 6日欠席(敬称略)

荒井昌一・安藤譲治・大森貞男・齋藤幸夫
相馬征志・檜山達郎・平山博・高木慶一
和気勝利

前回 2月27日分メイクアップ(敬称略)

秋間忍・澤田吉夫

次回例会

平成31年3月13日

担当 SAA

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○ 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○ 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○ 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
○ 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・和気勝利・秋間 忍・藤崎善隆